

事業所名

放課後等デイサービスマーウエーズ

## 支援プログラム

更新日

7

年

2

月

14

日

法人(事業所)理念	「障がい者」の視点ではなく世界でたった一人しかいないその子の「素敵」を見つけ、逆境にも負けない直感力や強さ、感性の豊かさ、その子自身が充実感を築いていけるよう、支援計画に沿った真の成長をサポートしていきます。		
支援方針	利用者一人一人の特性や可能性を日々スタッフ同士で共有し把握し、日々の療育イベントとして領域に基づいた、SST、運動療育、アート療育等で自己肯定感を高め、総合的な自立支援を行う。また、非認知能力を意識し見通しある支援をする。		
営業時間	放課後:10:30～18:30 長期休業:9:30～17:30	送迎実施の有無	あり
支援内容			
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルの習得:自ら身の回りを清潔にし、整理整頓ができるようにする。日替わりで日直を担当してもらい、始まる会でその日のスケジュールを発表 おやつ配膳等をして自主性を高める。 生活リズムや生活習慣の形成:来所からの流れを掲示物や的確な声掛けを通して時間を意識して行動する生活リズムを身につけていく。	
	運動・感覚	季節を感じる壁面制作やアート療育:様々な材料やハサミ、筆等の道具の練習を通して指先から手、腕、関節の感覚を駆使した微細運動、空間的に広がる色やデザイン等、視覚的にもダイナミックに色や形、感触を楽しみながら集中力、持続力の強化を身につける。 体力と脳を刺激する運動療育:室内で脳の成長を促すために、視覚、聴覚、固有覚等の感覚総合に向かう脳トレやチームワークに紐づけた運動イベントを遊びを通して支援する。 また近隣の公園に行き、遊びながら体をうごかし体力の向上、姿勢の保持等をめざす。	
	認知・行動	スケジュールの確認:ホワイトボードや掲示物を使い視覚的にその日のスケジュールを把握して、見通しを持った自主的な行動ができるように促す。 視覚ツールを用いた支援:利用者の特性や強み、興味などを理解し、絵カードやタイマー等を使用して、その利用者に合わせた支援を行う。	
	言語コミュニケーション	グループ療育によるコミュニケーション支援:マーウエーズ会議としてその時の議題についてグループで意見を出し合い、まとめ発表することで相手の意見をよく聞いて理解したり、自分の考えを伝えるコミュニケーション能力を養う。 その他:様々な人とコミュニケーションがとれるように、何気ない日常会話が盛り上がるような声掛けや雰囲気づくりをする。また絵カードを用いたり工夫する。	
	人間関係社会性	人間関係の形成・集団への参加:日々の全体イベント(療育)の参加や、はじまりの会、終わりの会にて集団の輪の中に入り活動スキルを身につける。 SST(ソーシャルスキルトレーニング)の実施:他者との距離感や適切な言葉の選び方、意見が違う時の解釈のしかたや、お金の使い方等、社会に出て必要なスキルを育む。 課外活動の実施:実際に公共の場へ出てルールを守って行動し活動に参加できるよう支援する。	
家族支援	家庭での困りごとに対する助言やサポート 長期休暇の延長サービス	移行支援	学校、放課後キッズ等関係機関との連携
地域支援・地域連携	近隣公園、公共施設の利用、課外活動	職員の質の向上	利用者に関する日々の会議での申し送りや個別支援計画のアセスメント 災害、感染症BCP委員会による安全管理の共有 虐待、身体拘束の適正化 定期的な社内、社外研修の実施
主な行事等	毎日開催イベント(療育):SST、運動、アート その他:月に1度の避難訓練、年に2回の総合訓練 季節行事(数例抄出):春、お花見、ひな祭り制作夏、教室内夏祭り秋、ハロウィン冬、年末お楽しみ会、初詣等 お誕生日会、利用者主体のマーウエーズ会議		